



Constructive Living Humor

CLユーモア・ルーム

CL News: Vol. 13, No. 11 から

David K. Reynolds, Ph.D.

はっきりと事実を見つめるとたまに笑いが湧くことがあります。お笑いの決まった出し物は、いかに事実を聴衆に見せたり聞かせたり

するかで創られます。

日本のCLの従兄弟とも云える「生きがい療法」にはユーモア・スピーチのための準備の練習や発信が含まれています。癌や長期の病気で伴う限界のある中で建設的な人生の模範を示してくれます。「生きがい療法」の集会で、がん患者さんらが闘病生活でのおかしな面や癖とかの短い、ユーモラスなスピーチを發表します。「生きがい療法」については[「この一瞬に自分を変える」](#)に多くの頁をさいているのでご覧ください。

次のユーモアをつくった人の名前を忘れたことをお詫びます。私たちが事実からの贈り物の源をすぐに忘れてしまうのと同じですね。

Q. 電球を回してソケットに取り付けるのに何人の神経症の人が必要ですか？

A. 神経症の人は、世界は自分を中心に回っているという考えでいっぱい、じっと立ったままです。

Q. 電球をとり変えるのに何人のCLインストラクターが必要ですか？

A. 変えたい気分になる必要はありません。


Q. 電球をとり変えるのに何人の典型的な精神療法家が必要ですか？

A. 分析などで長い時間を要し、電球自体が本当にソケットにおさまりたいと思わなければなりません。

CLの人たちはどれほどステーキが好きですか？ ウェルダン（お見事）。--Bob Addleton

友人の書いた本を買おうとする人の話:

- ・「決断の乏しい、ぐずに関する貴書を買おうか考えたのですが、まだ考えが決まらないのです」。
- ・「ダイエットについての貴書を買いたかったのですが、両手にドーナツを持っていたので…」。
- ・「衝動買い癖に関する貴書を買う衝動に駆り立てられたのですが、別のセール中の本があったので…」。
- ・「賭博狂の貴書を買うべきとの直感が湧いたのですが、一か八か直感なしの行動をとってみました」。
- ・「依存心に関する貴書を買おうと考えていますが、あなたはどう思いますか？私は決断力が弱いとわかった人間のようなようです。…が、たぶんその類の人ではないかも…。いくぶんそのような人間なのかもしれないと思いますし…でも…」。
- ・「私が少しでも価値のある人間だったとしたら、劣等感についての本を書いたかもしれません」。

 [目次へ戻る](#)